

令和4年度第2次補正
探究的学習関連サービス等利活用促進事業費補助金

探究的な学び支援 補助金2023

効果報告レポート

【事業者名】

株式会社Inspire High

【サービス名称】

Inspire High

【サービスの機能分類】

区分A-1 メインサービス

2024年1月



InspireHigh

Expand Your Horizons.



Inspire High（インスパイア・ハイ）は、普段出会えない、世界中で活躍するインスパイアリングな大人（ガイド）から、多様な生き方や価値観、仕事、社会課題に触れる体験を教室に届けます。「答えのない問い」について、自分自身の考えを表現し、他者と共有する時間も。自己理解や他者理解の促進、好奇心・創造力・表現力を育みます。



日本E-learning大賞の経済産業大臣賞をはじめ、国内外の教育アワードでの受賞実績もあります。2023年は、The LPI Award スタートアップ部門ファイナリストにも選出。



経済産業大臣賞

1回の授業の流れ | 聞いて終わりではない、能動的な学び

多様な大人の話をもとに、各回の問いを自分で考えて表現。さらに同じ問いに対する全国の10代の意見を見て、世界を広げていきます。



学校ごとの探究学習の目的やカリキュラムにあった授業計画をご提案

例) 全体の目的に対して、Inspire Highのセッション（テーマ）をプロットしてご提案



キャリア（進路）と探究をかけあわせたプログラムを、気軽に教室で実現。

課題 (1)

生徒が多様な大人に触れる機会が不足

児童・生徒が出会う大人が、教員、家族、塾の先生などに閉じられていることがまだ多く、幅広い社会のあり様や生き方の多様性を提示することが困難であることが多い。進路の選択肢不足にもつながる。



課題を解決できる強み (1)

世界中で活躍しロールモデルとなる大人が登場

Inspire Highでは、起業家、アーティスト、漁師、映画監督など、多様なガイド陣のプログラムを用意。オンラインツールだからこそ可能な世界中のクリエイティブに生きる大人たちと触れ合う体験を生徒に提供することができる。

課題 (2)

進路につながる自分自身の深掘りが難しい

総合型選抜入試の人数が増えてはいるが、志望理由書の内容を自分の言葉で書くことができない、自分自身への理解が足りていないなどの課題がある。探究学習を行うことで自分の興味関心が明確になる機会ではあるが、進路に繋がっていない。



課題を解決できる強み (2)

毎回の授業で自己理解を深めていく仕組み

各授業の中では、テーマと自分自身を繋げ、自己理解を深めるアウトプットのワークがある。毎回異なる問いは、自分の価値観を表現するような内容。回答を続ける中で進路につながる自分自身の深掘りが可能。他者の投稿をみて自己を相対化することもできる。

課題 (3)

多忙で探究的な学びをデザインすることが難しい

多忙な教員が、探究学習やPBL・キャリア教育のカリキュラム設計や実施のファシリテーション、生徒個々へのフィードバックや評価をしていくことは困難であるケースも多い。



課題を解決できる強み (3)

教員の負担を最小限に抑えたプログラム

教員が極力手をかけずに実施できるプログラムから、学習価値を最大限に高めるために教員がファシリテーションを手厚く実施するプログラムまで、学習の目的や学校のリソースに応じた多様な実施が可能。教員のニーズや要望に応じた多様な実施が可能である。

■ 探究的な学び支援補助金における活用場面

学校ごとに、授業の目的・コマ数にあわせて授業の流れを一緒に設計。
授業では、ロールモデルとなる大人たちからのインスピレーションを元に答えのない問いと向き合い、
全国の10代との関わりも通して多様な価値観に出会う機会を届けた。

Inspire High活用の流れ

授業計画・教員レクチャー

利用テーマ 世界の今を知って考える！SDGs学習パック
さまざまな場所で生活しているガイドの話は、遠くに住む私たちにも少なからず何か関係があるものばかりです。

おすすめセッション

- フィリピンの子守歌と考える 貧しいってなんだろう？
- オーストラリアの消防士と考える 気候変動をどう食い止める？
- アフガニスタンの学校創立者と考える 学校の意味ってなんだろう？

おすすめポイント

- 日本での「貧しさ」を探る
- 気候変動のためのムーブメントを考える
- 自信を作ってみる

学校ごとの狙いにあわせて、最適な活用法方を検討。
教員に授業方法をレクチャー。

オリエンテーション



授業の目的、操作方法などを教員と生徒と一緒に学ぶオリエンテーション

授業



教員のファシリテーション負担を下げた授業。
児童生徒は自分自身で端末から投稿。

※写真：麹町女子学園中学校 (東京都千代田区)

振り返り

セッション	参加人数	視聴率	コメント投稿数	アンケート回答数	リアクション数	エモーション
2023/01/14	22	14	16	14	14	14
2023/01/13	22	8	15	6	22	12
2022/11/01	21	13	10	11	11	15

レポートページから生徒の投稿や授業のエンゲージメントの確認。
定期的にInspire Highスタッフと教員で振り返りを実施。

生徒は自身の履歴ページで自分の考えの変遷をみることができ進路検討の参考にすることができる。

■ 探究的な学び支援補助金における活用場面

活用事例： 千葉明德中学校・高等学校 (千葉県千葉市)

今回の活用の狙い

- ・ Inspire Highを通して先人の話を聞くことで、今何をすればよいのか考える機会を作りたい。
- ・ 大人の話が刺激となり、生徒の進路選択のための行動や、個人探究の次の糸口になるような行動のエンジンとしたい。

利用方法

- ・ 高校特別進学コース1年・2年生が合同で行う探究の時間の中で、「自分が興味のあるテーマ」を自分で選択して参加する形式の授業を実施。
- ・ それ以外にも各自担任の先生が「今伝えたいメッセージに近いセッション」を選択し、クラス全員で視聴／実施。

結果

生徒への満足度アンケートでは、約70%が満足と回答。(有効回答数：78名)
 アンケートに記載の定性コメントでは「他者の価値観を知る／普段は聞かない人の話」に価値を感じていることがみられた。今まで興味もなかったことも意外と面白かったという評価もあり選択肢の幅に繋げることができた。
 総じて、大人の話や行動、考え方からインスパイアを受け、自分の考えをアップデートできたという結果が出た。



自由選択制：1回目～2回目



教員選択：3回目



■ 探究的な学び支援補助金における活用場面

活用事例： 晃華学園中学校高等学校（東京都調布市）

今回の活用の狙い

- ・ 探究学習で社会活動を行う一環として、
「多様なテーマ・人の生き方」に触れることで表現力・思考習慣をつける
- ・ 実社会における課題を“自分ごと”として捉えるグローバルなマインドセットを培う

利用方法

- ・ 高校1年生にて学年一斉実施、5つのテーマを活用して実施

結果

総じてポジティブな声が先生・生徒から出ている。

生徒からの定性コメント抜粋)

- ・ 他の学校の生徒さんがどんなことを考えているか知ることができた。
- ・ 自分が思ったこと、考えたことを文章に残すことで後から見直すと新たな発見もあり、自分の世界が広がった。
- ・ 今まで自分が当たり前だと思っていたことがそうでないと気付いたり、自分が考えた1つの考えだけでなく様々な人の視点に触れることで、物事を柔軟に考えられるようになった。

教員の感想例)

様々なジャンルのガイドトークがあり、それを視聴できるだけでも意義はあったが、アウトプットに対するフィードバックなど、生徒にとっては貴重な体験になった。生徒の感想にも、様々な視点が学べて良かったというものが多かった。それぞれのセッションの構成もよく練られており、考えさせる内容となっていた。経産省の助成金のおかげで「試しに」ということで実施できて、Inspire Highの良さを知ることが出来た。来年度の導入に向けて検討している。

テーマの内容





西武台高等学校 (埼玉県新座市)
大きめの教室で、合同実施



浦和学院高等学校 (埼玉県さいたま市)
話し合いなども組み込みつつ活用



渋谷区立代々木中学校 (東京都渋谷区)
難しい言葉などは先生が解説しつつ
授業を進行

学校等設置者

自治体数	8
学校法人数	46

学校等教育機関数

合計校数	81
内訳)	
小学校	8
中学校	32
高校	40
高等支援学校	1

生徒のウェルビーイングを計測するための「Inspire High ウェルビーイング アセスメント」。全33問の質問に答えてもらい、日々の学びの効果や変化を可視化するもの。本補助金での利用校に関しては、2学期開始時点と12月に回答を収集した。

結果、自己の現状に対するポジティブな感情が増加したこと、他者との接し方の変化、社会に対する接続感や自己効用感の高まりがみられた。

回答校で特に自己理解に関するテーマでの授業実施がみられたこと、アウトプットを通して自分の考えを発信する練習となっていたこと、フィードバックの時間を通して、学校の外にいる同世代の意見をみることでこれらが顕著に上がったと考えられる。

ポジティブな変化がみられた項目 33問中23問

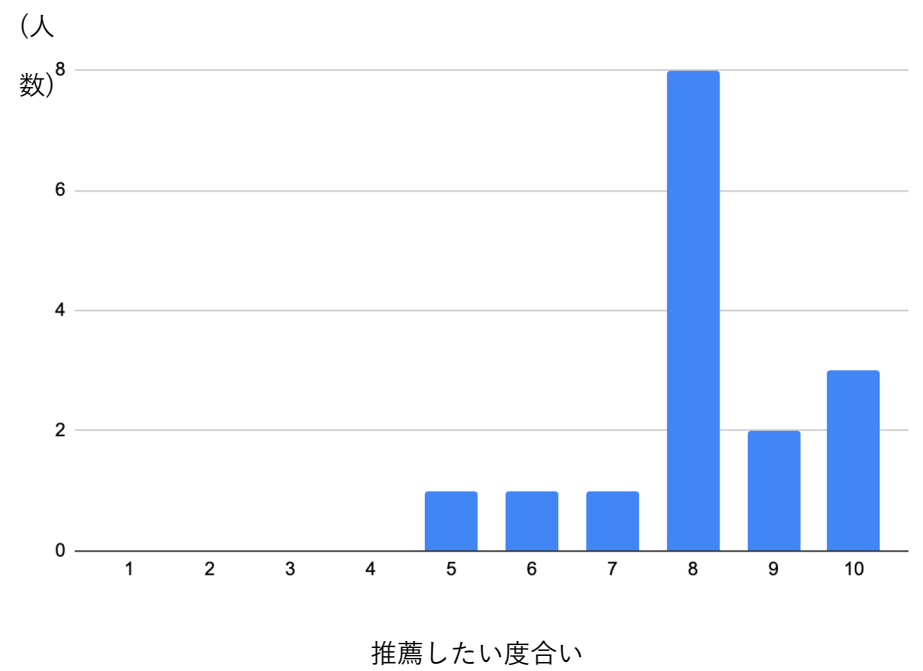
特に変化がみられた項目TOP5 ※回答は1～5点での評価

カテゴリー	質問	1回目回答平均	2回目回答平均	変化率 (G/H)
自己認識	ほとんどの面で、私の人生は私の理想に近い	3.01	3.19	105.9%
つながり意欲	自分の考えを包み隠さず人と接する方だ	3.18	3.32	104.4%
接続感	地球の反対側にいる人とも、100年後の人とも、自分はどこかでつながっていると思う	3.08	3.22	104.5%
自己効用感	私の人生は、他者や社会の変化に影響を及ぼせるようになると思う	2.83	2.98	105.1%
自己肯定感	自分のことが好きだ	3.33	3.43	103.0%

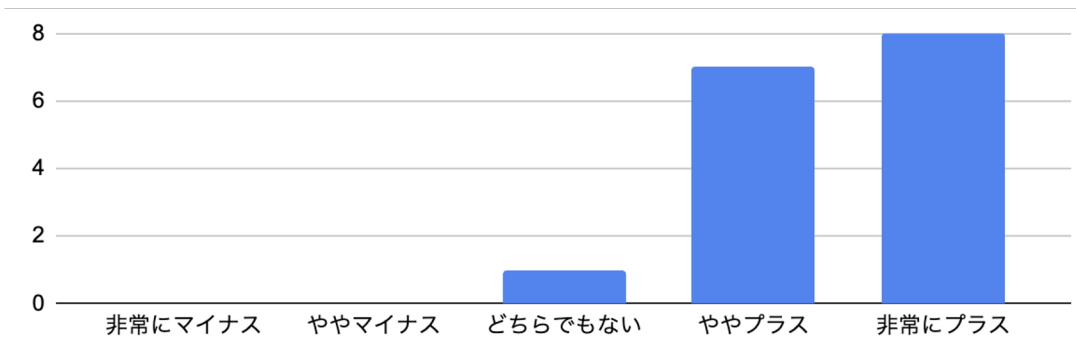
※回答校数11校、433人（前後調査への回答が完了している学校・生徒のみ集計）

「Inspire Highを他の先生にも推薦したいと思いませんか？」との質問では平均点が8.1点と高い結果となった。
この回答に対して影響していることについて内訳も聞いたところ、内容とサポート面の両方で満足が高い。一方で補助金活用後の費用面が今後継続検討に向けての課題となる。
※回答母数：16校16名の教員

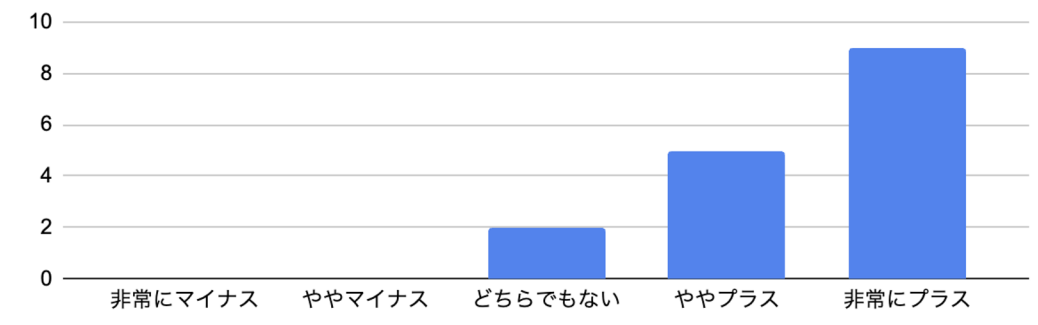
Inspire Highを他の先生にも推薦したいと思いませんか？



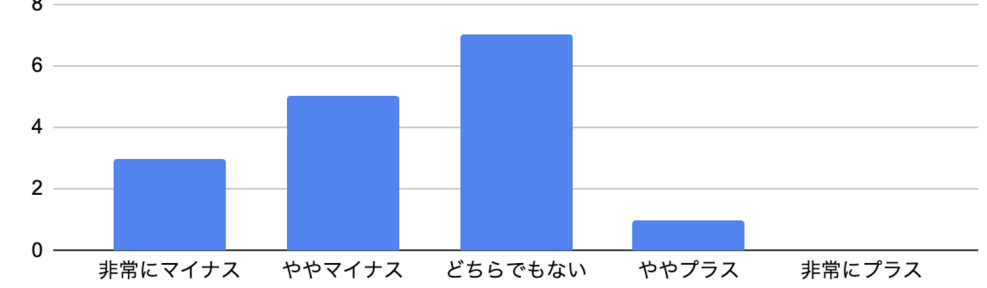
(左記の質問について) 人選・テーマが影響した度合い



スタッフのサポート対応が影響した度合い



金額が影響した度合い



■ サービスを活用するにあたっての課題とその改善策

課題 (1)

開始のタイミング

期中の開始だったので、年間計画を途中で変更する必要があり、十分な活用ができなかった学校があった。また、2学期は行事が多く、その準備に授業が取られてしまうなど突発的に発生し、予定通りに進まない学校もあった。



改善策

年度初めの4月までに活用計画を立て
年間の計画のなかにInspire Highを入れ込む

次年度の契約継続に向けては上記の動きを行っていく。
もし、今後も補助金が継続する際には、より早めに確定することが学校側より望まれていました。

課題 (2)

次のアクションへの繋がり強化

授業でインスパイアされ、自分の中での疑問ややりたいことが浮かんできても、点になってしまい、次の行動に繋がきれない人もみられた。生徒次第になってしまい、教員側でのフォローが必要だった。



改善策

自分の問いとアクションをまとめる授業の実施

課題からのヒントを得て、次年度に向けては、自分の中に浮かんできた疑問・やりたいことを集大成としてまとめて、次の行動計画を作ることができる機能を実装予定。その内容をみて先生方が進路指導や、次の行動の推奨により活かしやすい状況を作る。

課題 (3)

ネットリテラシーにより 生徒の反応に差が出る

ネットリテラシーが低い生徒の場合、プラットフォーム上で面白いコメントをしようとしたり、ふざけてしまうなどの傾向があり、十分に内容が伝わらない可能性があった。



改善策

Inspire Highの授業を受けるにあたっての
心構え、ネットリテラシーの事前共有を徹底

児童・生徒向けのお知らせや、教員への授業マニュアルはあるものの、実施有無は先生の判断となっていた。内容をわかりやすく改善する、教員側で伝えやすい資料を準備する、懸念がある場合は事前に実施の徹底をするなどで改善していきたい。

高校生

- ・自分の興味のあることに全力投球する生き様はかっこいいと思えた。
- ・自分の中にあった考えが、段々とまとまってきた気がする。
- ・人によって社会のどのような点を課題だと思っていて、どのように変えたいか違っていて。違う思いがあるからこそ、そこからまた新しい課題解決に繋がっていくと実感しました。

中学生

・自分のなかで当たり前だった考え、偏見が客観的な視点から専門のガイドに説明されることで自分の中での考えが変わった。例えば自分の中では当たり前がほかの人にとっては当たり前ではないなんて考えもしなかったため、今回の総合探求では自分の中で新しい考えを持つことができたため楽しみながら参加できた。

小学生

- ・普通の授業や学習だとみんなの前で発表をしたり、自分の意見を公表しないといけなかったり、言いにくかったりしますがInspire Highでは匿名なので自分の意見が言いやすいし、ほかに同じお題で考えた人の意見にコメントをしたりするのもとても楽しいです！自分の意見にコメントが来たら嬉しい気持ちになるし、自分の意見を本音で言ってよかったなと思いました！
- ・アウトプットの時間など区切られてるのがやりやすくて超いい。

私立中高の教員

- ・動画の人選も良いし、設定された問いも生徒に考えさせたい内容でした。
- ・多種でバラエティ豊かな方々の考えは、生徒にとってためになると感じた。
- ・探究活動の初期段階において、広い視野で社会の問題を考えるうえで、楽しみながら参加できる良い教材だと思っています。

公立中学校

- ・令和の時代にあった、多様性あふれる人たちが登場しているので、生徒たちも興味をもちやすいように感じた。いろいろな体験をしている人から、直接でなくとも、このようなシステムで授業に取り組めることはとてもよいと思う。
- ・教員にはあまり直接話してくれないようなことも赤裸々に実体験から語ってくれていた。
- ・他の人の回答も見ることができたので、それにより周りの人と自然な会話が生まれていました。

公立小学校

- ・子どもたちの反応がよく、自分の投稿が即表示されるので意欲的に取り組むことができました。
子どもたちの中にはもっとしたいという意見が多くあり、子どもたちの世界が広がりました。
- ・実施したのは田村亮さんのです。タブー視されがちな死に対することを子どもたちが深く考えることができました。進行がすばらしかったです。明るく、テンポよく進められるので普段書かない生徒もよく書いていました。先生方にも好評で、2回を3回に増やせないかお尋ねがありました。
- ・やはり生徒たちはディスカッションでの投票など、自分が参加できるところが楽しそうだった。
- ・戦争についての知識などが浅いため、説明を加えながらなので時間がかかったが、動画も最後までスムーズに見れた。
生徒達にはテーマの問いが少し難しかったので、教師の方で少し簡単な問いに変更して授業した。
- ・とにかく生徒達はすごく興味を持ってきているし、先生達も準備を頑張ってくれて、コンテンツもとても興味を引かれるのに、学校の回線の問題があり使いづらくなってしまうのが勿体無い！

株式会社Inspire High（インスパイア・ハイ）

■ 所在地 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-3

■ 設立年月日 : 2019年11月

■ 代表取締役 : 杉浦太一

■ 従業員 : 20名（2024年1月時点/正社員のみ）

■ 会社概要 :

Inspire High, Inc. (<https://www.inspirehigh.com/>)

世界中の創造力と10代をつなぐライブ配信セッションのハイライト動画を活用した中学・高校・大学向けの双方向学習プログラムを提供。

Inspire Highは自治体や公立私立の中学校、高校と連携し、総合的な探究の時間、キャリア教育やクリエイティブ教育の教材として数多く活用されている。

共同運営 CINRA, Inc. (<https://www.cinra.co.jp/>)

■ 問合せ窓口 :

・ 問合せ <https://www.inspirehigh.com/contact/>

・ 資料DL https://www.inspirehigh.com/school_contact

・ E-MAIL info@inspirehigh.com（担当：小松）